

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名	内田 勝也 (うちだ かつや)	所属	情報セキュリティ大学院大学 名誉教授
研究集会等名称	情報セキュリティ心理学研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>(1) 日本心理学会 第76回大会 ワークショップ (2012年9月12) 参加者数 研究会員 7名 (うち認定心理士 1名) 非研究会員 16名 (うち認定心理士 1名) (2WSへの参加者は1名として計算) 合 計 23名 (うち認定心理士 1名)</p> <p>(2) 月例会 (2012年6月～2013年3月: 10回) 開催年月: 2012.06 2013.02 参加者数: 15名 32名</p> <p>2) 集会等の目的・成果等</p> <ul style="list-style-type: none"> • 開催関連 <p>(1) 日本心理学会 第76回大会 ワークショップ (2件) の開催 (2) 月例会: 毎月、情報セキュリティ心理学をテーマにした研究会の開催 (開催内容は、添付の「情報セキュリティ心理学のためのウェブ」に記述)</p> • 集会の目的 <p>(1) ワークショップ (2件): 学会会員の関心を高めるだけでなく、非会員の大会参加を促し、入会に繋げることを目的とした (2) 月例会: 心理学会員だけでなく、多くの人たちに情報セキュリティ心理学への関心を高め、心理学会への入会を目指す</p> • 成果 <p>(1) ワークショップ (2件): 学会員以外の参加者を数名ワークショップ参加目的で勧誘できた。 (2) 月例会: 開催当初 (6月) は、参加者が少なかったが、現在は30名を前後が参加するようになった。この分野への関心を高めることができた。9月の大会への参加者も募る (3月例会)。今年度は会員獲得までには繋がらなかったが、今後も継続的に会員獲得を目指したい。</p> • その他 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「情報の科学と技術」Vol. 62(2012), No.8 に、「情報セキュリティ心理学」を寄稿した。その他、大手通信会社にて、「情報セキュリティ心理学」をテーマで出講を行った。 ➢ 来年度 (H25年度) も、大会の公開シンポジウム/小講演等への参加を計画している。 ➢ また、月例会は来年度も継続して開催し、更に、関心を高めたい。次第に参加希望者の人数も増えてきており、30名を越える人数になってきた。 ➢ 今年度はウェブ (http://www.uchidak.com/InfoSecPsycho/) だけでなく、Facebook での案内を行ったが、それぞれ効果が認められたため、今後もこれらを利用して周知をはかる。 		